

東京都地方独立行政法人評価委員会 平成19年度第1回試験研究分科会

議事概要

1. 日時：平成19年7月3日（火）9時30分から12時15分まで
2. 場所：東京都庁第一本庁舎 42階南北側 特別会議室C
3. 出席者：板生委員、井上委員、泉澤委員、鞠谷委員、松本委員
4. 議題：1 審議事項 平成18年度産業技術研究センターの業務実績報告書について
2 報告事項 産業技術研究センター平成18年度決算における利益処分の考え方について
3 その他
5. 議事概要：
(1) 平成18年度産業技術研究センターの業務実績報告書について
産業技術研究センターより、業務実績報告書について説明。

【質疑応答・委員意見】 太字ゴシックが委員意見

デザインセンターの新たな取り組みはどのようなものか。

平成18年9月より開設したデザインセンターでは、企画・設計からモデリング、データ出力を行い、成型、試作品作成といった、ものづくりの一連の流れに沿った支援を実施した。

機器利用サービスについて、中期計画の目標値3万件に対し、初年度で既に目標を達成した件数となったとのことだが、中期計画の変更などはあるのか。

数値目標についてはクリアしたが、今後は質の向上を図っていきたいと考えている。技術支援の件数ばかりを追うのではなく、研究開発とのバランスを図ること、研究員のポテンシャルを高めること、及び今後の庁舎の移転建替えにより実績減が予測されることを踏まえ、目標値の変更は考えていない。

技術支援のための施設の整備や利用促進等を順調に実施していることは理解できた。今後、中小企業の製品化にどれだけつながったかという具体的な成果等の収集も課題である。

技術審査は年間2,580件もの膨大な件数を行っているが、これには区が実施する技術審査の9割を受託しているということがある。区でももっと技術審査を行えるよう、区へ技術指導などは行うのか。

技術審査については、単なるネガティブチェックだけでなく、全体的な知識や経験を必要とする。現在は区への指導は行っていない。

国際的に通用する証明書の発行が可能な、計量法校正事業者登録制度（JCSS）への登録を行ったとあるが、この証明書を交付された企業が実際海外の取引を行った事例は把握しているのか。

19年2月から試験受付を開始したばかりであり、18年度における事例は把握していない。将来的に個別評価していくことはできると考えている。

30の企業や業界団体との個別ニーズに対応するオーダーメイドセミナーの実施について、自己評価が「S」となっている理由は、

各企業等からの要望に応じたオリジナルテキストを作成するなど個別ニーズに応じた結果、利用者の満足度が非常に高い結果となったことが挙げられる。

(2) 産業技術研究センター平成18年度決算における利益処分の考え方について

産業技術研究センター平成18年度決算における利益処分の考え方を分科会へ報告し、その内容について、委員会としての意見は特にないことを確認した。

以上